

枚方公済病院 内分泌代謝内科のご紹介

枚方公済病院 内分泌代謝内科では常勤専門医2名体制で、糖尿病(ダイアベティス)の診療・ケアについて多職種参加のチーム医療を提供しています。入院では、1週間のダイアベティス学習プログラムを設定し、曜日ごとに各職種が担当しミニレクチャー、動画視聴など工夫を凝らしながら実施しています。

学習入院プログラム (ダイアベティスクラス)		月	火	水	木	金
	担当	医師/理学療法士	看護師	管理栄養士	臨床検査技師	薬剤師
	AM	動画学習	動画学習	動画学習	動画学習	動画学習
	PM	ミニレクチャー	ミニレクチャー	ミニレクチャー	ミニレクチャー	ミニレクチャー
	運動療法 (理学療法士)					

●随時で休日を含まない週に開催 ●少人数参加 ●多職種が曜日ごとに関与
●AMはタブレットで動画視聴、PMはミニレクチャーで細やかな対応 ●水曜日に多職種カンファレンスを実施

多職種で入院カンファレンスを行い、ひとりひとりの患者さんを丁寧に掘り下げ、その方にとっての最適な治療計画について話し合っています。様々な職種がそれぞれ集めた情報をカンファレンスで共有すると、患者さんが本当に困っていること、一番大切にしていることが明らかになって来ます。そんな時には、ダイアベティス治療・ケアというのは患者さんの人生の一時期を伴走させてもらうことだとつくづく実感します。外来では、1型・2型ダイアベティスの治療をはじめ、甲状腺・副腎疾患などの内分泌疾患についても対応します。CGMを用いた血糖モニタリング、近年新規治療薬が使用可能となった肥満症についても、積極的に取り組んでおります。

本年度のダイアベティスチームのケア目標は、以下のように掲げました。

- ① 目を「ひらこう」-----ダイアベティスに対する正しい知識と理解を促進します。
- ② 心を「ひらこう」-----ダイアベティスのこと、生活のこと、心配事を話し合い、解決しましょう。
- ③ 扉を「ひらこう」-----新しいチャレンジを応援します。

2024年より毎年11月14日のワールドダイアベティスデーにあわせて、「ひらこーダイアフェス」を開催しております。これは、地域住民の方に向けた、ダイアベティスの正しい知識と健康意識を啓発するための“お祭り”です。医師の漫才、射的、スイーツ提供、頸動脈エコーサービスなど、盛りだくさんのイベントで、参加された方々、スタッフも含めて、楽しい時間を共有でき、お互いの絆が深まりました。これからも当院ならではの新しいチャレンジを続けたいと思います。皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2024年度診療実績

紹介患者数 315人
外来患者数のべ 9432人
入院患者数 228人

入院内訳

1型糖尿病ほか 17人、2型糖尿病 126人、
視床下部・下垂体疾患 2人、甲状腺疾患 4人、
副腎疾患 7人、その他 71人



内分泌代謝内科科長
加藤 星河
(かとう せいか)



内分泌代謝内科科長
田中 永昭
(たなか ながあき)

地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金) 8:30-20:00、
(水木) 8:30-17:15、(土) 9:00-13:00

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233